

MHAM物価連動国債ファンド (愛称: 未来予想)

元本確保型の商品ではありません

◆ファンドの特色

- ・主な投資対象 ……MHAM物価連動国債マザーファンド受益証券 (マザーファンドの主な投資対象:わが国の物価連動国債)
- ・ベンチマーク ……ありません。
- ・目標とする運用成果 ……将来のインフレリスクをヘッジ(防衛/回避)し、実質的な資産価値の保全を図りつつ、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	10,852円
純資産総額	187.36億円

◆資産構成

国内債券 ※現先を除く。	98.5%
物価連動国債	98.5%
国内債券先物	0.0%
国内債券実質	98.5%
コール等	1.5%

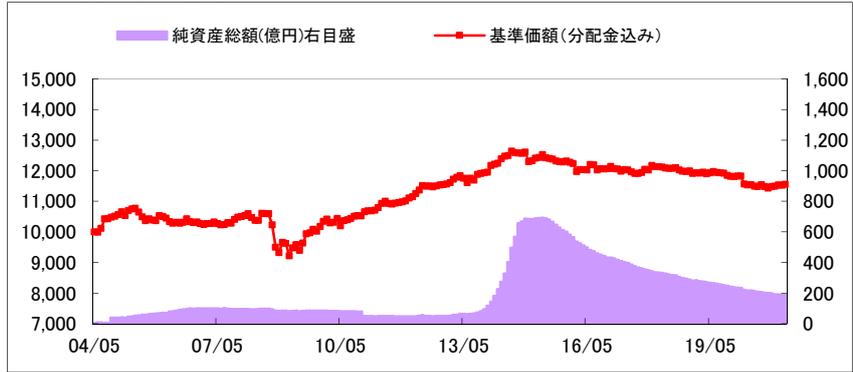
※ファンドの純資産総額に対する組入比率。
「コール等」は、100%から国内債券実質組入比率を減じた比率を表示。

◆ポートフォリオ・プロフィール

	ファンド
残存年数	5.36

※ファンドの実質組入債券ポートフォリオ (公社債部分)のプロフィール。

◆基準価額の推移グラフ



※グラフの期間は設定日前営業日から基準日まで。ファンドの設定日前営業日(2004年5月31日)の当初元本(1万口につき1万円)を起点とする毎月末のファンドの基準価額。
※「基準価額(分配金込み)」とは、分配金(税引前)を再投資したものととして算出した基準価額。

◆ファンド(分配金再投資)の収益率とリスク(標準偏差)

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	0.55%	0.65%	-0.06%	-1.59%	-0.82%	0.76%	0.86%
ファンドリスク(分配金再投資)	---	---	1.26%	1.67%	1.85%	2.33%	3.79%

※「ファンド収益率(分配金再投資)およびファンドリスク(分配金再投資)」とは、ファンドの決算時に収益分配があった場合に、その分配金(税引前)を再投資したものととして算出した収益率およびリスク。

※「期間1年以上の収益率およびリスク(標準偏差)」は年率換算値。「期間1年未満の収益率」は期間収益率(年率換算値にあらず)。「収益率」は、基準日から遡って当該期間にそれぞれ該当する月末のデータと基準日のデータを使用して算出。「リスク(標準偏差)」は、当該期間における毎月末のデータを使用して算出。

◆公社債残存期間別構成比

残存年数	ウェイト
1年未満	0.0%
1年~3年	16.0%
3年~7年	65.7%
7年~10年	16.8%
10年以上	0.0%

※「ウェイト」は、ファンドの純資産総額に対する組入比率。

◆公社債組入上位10銘柄

銘柄名	ウェイト	残存年数
23回 物価連動国債(10年)	16.1%	6.9
21回 物価連動国債(10年)	16.1%	4.9
22回 物価連動国債(10年)	15.5%	5.9
24回 物価連動国債(10年)	15.1%	7.9
19回 物価連動国債(10年)	11.0%	3.4
18回 物価連動国債(10年)	8.6%	2.9
17回 物価連動国債(10年)	7.4%	2.4
20回 物価連動国債(10年)	6.9%	3.9
25回 物価連動国債(10年)	1.6%	8.9

※「ウェイト」は、ファンドの純資産総額に対する組入比率。

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■「MHAM物価連動国債ファンド」の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は株式・公社債などの値動きのある証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、その基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入されたお客さまに帰属します。■当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。